

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: デイリープログラム SP
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com
想定される用途及び当該用途における使用上の注意	: 飼料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理化学的危険性	
可燃性固体	: 分類できない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入・粉じん、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 区分に該当しない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分 2
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 区分 2 (腎臓、肝臓、呼吸器)
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 区分 2 (脾臓、副腎、血管系)
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分 2
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分 2
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> : 重篤な眼の損傷 : 遺伝性疾患のおそれの疑い : 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い : 臓器の障害のおそれ(腎臓、肝臓、呼吸器) : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ(脾臓、副腎、血管系) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
【安全対策】	<ul style="list-style-type: none"> : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。 : 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。 : 取扱い後は手をよく洗うこと。 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 : 環境への放出を避けること。
【応急措置】	<ul style="list-style-type: none"> : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。その後も洗浄を続けること。さらに、眼の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。 : ばく露またはその懸念がある場合は、すぐに救急の医療処置を受けること。 : 気分が悪い時は、診察を受けること。 : 漏出物を回収すること。 : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて医療処置を受けること。 : 皮膚に付着した場合は、直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医療処置を受けること。 : 飲み込んだ場合は、直ちに水で口の中を洗浄すること。必要に応じて医療処置を受けること。
【保管】	<ul style="list-style-type: none"> : 施錠して保管すること。 : 直射日光を避け、密閉容器に保管すること。
【廃棄】	<ul style="list-style-type: none"> : 内容物、容器を国または都道府県・市町村条例などの規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(W/W%)
硫酸亜鉛	2.7%
硫酸銅	0.6%
硫酸マンガン	3.3%
ペプチド銅	1.0%
硫酸コバルト	非開示
ペプチド亜鉛	
ビタミン A	
ビタミン D ₃	
ビタミン E	
ヨウ素酸カルシウム	
賦形剤等	残

成分名	CAS 番号	化管法	安衛法
硫酸亜鉛	7733-02-0	該当 (Zn 換算 1.0%以上)	非該当
硫酸マンガン	10034-96-5	該当 (Mn 換算 1.0%以上)	■表示および通知義務 政令番号：別表第9の550 政令名称：マンガン及びその無機化合物 含有率0.1%以上
硫酸銅	7758-98-7	非該当 (1.0%未満)	■表示および通知義務 政令番号：別表第9の379 政令名称：銅及びその化合物 含有率0.1%以上
ペプチド銅	—		
硫酸コバルト	10124-43-3	非該当 (1.0%未満)	非該当 (0.1%未満)

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。
---------	--------------------------------------

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 燃焼により有害ガスを発生する恐れがあるので、注意する。 消火活動は風上から行う。 周辺火災の場合、周辺の設定などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
適切な消火剤	: 水、泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 特に情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和	: 飛散したものは、掃き集めて空容器に回収する。 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
二次災害の防止策	

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項	
技術的対策	: 皮膚に付けないように適切な保護具を着用する。
注意事項	: 粉じんの吸入を避ける。
保管上の注意事項	
保管条件	: 直射日光を避けて密閉容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: データなし
許容濃度	: データなし

保護具

呼吸器の保護具	: 保護マスクを着用する。必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。必要に応じて耐溶剤性手袋を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型または保護面等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

性状	: 粉状
----	------

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱いでは安定である。
危険有害分解生成物	: 二酸化炭素、一酸化炭素
避けるべき条件	: 特に情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 本製品の成分は、区分3および区分4の成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分に該当しないとした。
急性毒性（経皮）	: 十分なデータがなく、分類できないとした。
急性毒性（吸入・粉じん、ミスト）	: 十分なデータがなく、分類できないとした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 本製品の成分は、区分1および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 本製品の成分は、区分1および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分1とした。
呼吸器感作性	: 本製品の成分は、区分1および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
皮膚感作性	: 本製品の成分は、区分1および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	: 本製品の成分は、区分2および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
発がん性	: 本製品の成分は、区分2および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
生殖毒性	: 本製品の成分は、区分2および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 本製品の成分は、区分1および区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2(腎臓、肝臓、呼吸器)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 本製品の成分は、区分1および区分2の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2(脾臓、副腎、血管系)とした。
誤えん有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 本製品の成分は、区分1、区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 本製品の成分は、区分1、区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
オゾン層への有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 3077
品名	: 環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	: クラス9 環境有害性物質
容器等級	: III
容器が転倒、落下、破損しないように充分注意するとともに、輸送前に破損や漏出がない事を確認する。	

15. 適用法令

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律	: 乳牛用ミネラル・ビタミン入り混合飼料 A 飼料
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 : リスクアセスメント対象物(法第57条の3) 銅及びその化合物(別表第9の379) 含有率1~2% マンガン及びその無機化合物(別表第9の550) 含有率3~4%
化学物質排出把握管理法	: 亜鉛の水溶性化合物 第1種指定化学物質 含有率: 1.0% 管理番号1 : マンガン及びその化合物 第1種指定化学物質 含有率: 1.1% 管理番号:412

16. その他の情報

【引用文献】

- ・ 自社データ
 - ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
 - ・ 飼料品質改善協議会 プレミックス研究会提供 安全データシート
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質総合情報提供システム
-